

教室3 情報発信プロジェクト「絵と文字で伝える地域のストーリーづくり」 第2回レポート



教室3は、情報発信プロジェクト「絵と文字で伝える地域のストーリーづくり」。地域の面白いネタを集めたかるたを作ります。

かるたを作るには、まず地域を知ることから。今回は2班に分かれて、長浜・御畳瀬・浦戸のフィールドワークです。道中で「見つけたもの」「出会ったひと」「聞こえたおと」「考えたこと」を書くための、講師お手製の可愛いワークシートが配られ、いざ出発です。

長浜・浦戸コースは、広いので車で巡ります。まず浦戸漁港に着くと、立派な漁船がありました。見上げると、快晴の空に浦戸大橋が映えていて、とても清々しい気分。浦戸大橋は全長1480mもあり、龍馬マラソンのコースにもなっています。傾斜があるので走るのはキツイようですが、登り切った後に見える太平洋が、疲れをいやしてくれそうです。



次に、浦戸の住宅地を通って、山側の小道へ。細い道に入っていくと「映画みたいな雰囲気！」「冒険みたい」と、受講生のテンションも上がります。網のトンネルを抜け、見晴らしのいい場所に上がると、浦戸漁港が一望できました。桜の木もあり、地元の人のお花見スポットの一つだそうです。



桂浜花海道を通り、最後に長浜の「鎮守の森公園」の長宗我部元親像のもとへ。この像の左手の先の地面には四国が描かれていて、長宗我部元親が四国をほぼ統一した功績が表現された造りになっていました。元親公への手紙が出せる、ユニークなポストもありましたよ。

御畳瀬コースは、歩いて巡ります。旧御畳瀬小学校の西側にある国光トンネルを越えた海沿いの地区が御畳瀬です。

歩いていると、後ろから「おーい！」と呼ぶ声が。振り返ると、教室1の受講生でもある御畳瀬住民の方。御畳瀬の古民家を使ったコミュニティスペース「みなや」に行こうと声をかけてきました。みなやは毎週日曜日にオープンしていますが、楽舎の開催日は受講生が行けるように開けてくれています。



みなやの後は、御畳瀬の街並みを見ながら歩いて厳島神社（狭島^{さじま}さま）に向かいました。その間、同行してくれた御畳瀬の方が、漁業で栄えていた昔の御畳瀬のお話をしてくれました。商店もたくさんあって、祭りでは神輿を担いでいたそうです。今は残念ながら人も少なくなり、空き家も増えてしまったとのことでした。

昔の狭島はもっと沖にあったのですが、大型フェリーの通行の妨げになるとして昭和37年に爆破され、現在の位置に新狭島として作られたそうです。厳島神社では、毎日お参りに来ているという方との出会いもありました。



教室に帰ってからは、受講生みんなでくじ引き。くじで当たったひらがな1文字から始まる「読み札」を考えてくるのが宿題です。なんと、「ん」が当たった方もいるようです。

皆さんが感じたことから、どんなかるたが生まれていくのか、楽しみです。